

新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種のお知らせ

問 新型コロナワクチン接種相談コールセンター
☎732・3563 (毎日午前8時30分～午後7時)

ワクチン情報の詳細はこちら▶



☆12～15歳の方の接種券は7月15日(木)に発送します

対象年齢 (接種日時点)	予約・接種が可能な接種会場		
	町田市内 (ファイザー社製ワクチン)		国等が実施する 大規模接種 (モデルナ社製ワクチン)
	集団接種	個別接種	
65歳以上の方	○	○	○
64～60歳の方	○	○	○
50～59歳の方	○	○	○
40～49歳の方	7月16日午後1時から予約開始		○
18～39歳の方	決まり次第お知らせ		○
12～17歳の方	決まり次第お知らせ		×(7月9日現在)

※ワクチン供給量にあわせて、予約を受け付けていきます。

注意事項

- ワクチン接種を受けるためには、1回目、2回目それぞれの予約が必要です。
- 接種会場に行く前に、ご自宅で予診票を記入してください。
- 接種会場に接種券を忘れると、接種を受けることができませんので、必ずお持ちください。
- 3密を避けるため、接種会場には、時間通りにおいでください。
- 体調不良などで予約日に接種会場に来られなかった方は、1回目、2回目ともに予約を取り直してください。

ワクチン接種の予約方法

①パソコン・スマートフォンから予約

右記二次元バーコードから24時間予約可能です。



②電話で予約

町田市新型コロナワクチン接種予約センター ☎042・785・4117

(受付時間＝午前8時30分～午後7時)

※番号のかけ間違いにご注意ください。

国等が実施する大規模接種会場での接種予約は

こちらから▶



新型コロナワクチンに関する一般的な問い合わせ先(多言語対応可)

厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター ☎0120・761770
(日本語・英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語＝毎日午前9時～午後9時 / タイ語＝毎日午前9時～午後6時 / ベトナム語＝毎日午前10時～午後7時)

大規模接種会場等での接種を予約した方へ

市での予約が重複している場合は、速やかに市での予約を取り消してください。また、2回目の接種も同じ場所・種類のワクチン接種を受けてください。

副反応について

副反応はいつ出るのですか▶▶▶接種後1～2日後に出ることがありますが、ほとんどは3日以内に回復します。

どんな症状が出ますか▶▶▶接種部位の痛みやだるさ、頭痛・筋肉痛・発熱などの他、悪寒や関節痛が出る方がいます。発熱時は解熱剤を使っても構いません。

アナフィラキシー反応とは何ですか▶▶▶重いアレルギー反応のことです。ワクチン接種後、数分から数時間の間に発疹、発赤、かゆみや腹痛、嘔吐、血圧の低下、呼吸器の症状などが出ることで、20万接種に1回程度起こるとされています。治療により回復し、後遺症は残りません。

新型コロナウイルス感染症 生活困窮者自立支援金

問 町田市自立支援金コールセンター
☎03・6628・7266

新型コロナウイルス感染症が長期化しています。社会福祉協議会の総合支援資金の再貸付が終了した等により生活に困窮する世帯に対して、自立支援につなげるため、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給します。

対 市内在住の生活困窮者(支給要件有り)。
※生活保護を受給している方は対象外。

支給額

以下の支給額を3か月間支給します。

世帯人数	1か月当たりの支給額
1人	6万円
2人	8万円
3人以上	10万円

※自立支援金受給期間中は、定められた求職活動及び必要書類の提出を毎月行う必要があります。確認が取れない場合は支給中止となります。

申 8月31日まで(消印有効)に郵送で生活保護課自立支援金対応センター(〒194-8520、森野2-2-22)へ。

※詳細は、市HP(右記二次元バーコード)をご覧ください。



飲食事業者応援事業～期間を2か月間延長しました!

問 産業政策課 ☎794・7345

町田市デリバリー・テイクアウト支援給付金

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている、市内の飲食事業者を応援するため、デリバリーまたはテイクアウトを実施している市内の飲食事業者に対し、実施に係る経費として、一律5万円を給付しています。

デリバリーやテイクアウトの実施を促進するため、事業期間を2か月間延長しています。

詳細は市HP(右記二次元バーコード)をご覧ください。



5月1日～8月31日のデリバリー・テイクアウト事業が対象です。

申 申請書(市HPでダウンロード)及び必要書類を作成し、9月30日まで(消印有効)に郵送で産業政策課へ。

地産地消のススメ 町田産の元気野菜を食卓へ



地元野菜の地域内流通 社会実験を実施中

問 土地利用調整課 ☎724・4254

市では、市内に残された都市農地の保全や、都市農業の活性化に向けた取り組みを行っています。農業者の出荷負担や、食品ロスの軽減と、市民の皆さんがより身近に地元野菜を楽しめることを目的に、現在ネットショップを活用したまちだの地元野菜販売の社会実験を行っています。

実施期間 7月29日(木)まで

※事業の詳細はマチコロHP(右記二次元バーコード)からご覧いただけます。



まちだ都市農業チャレンジとは

市内には多くの都市農地が点在し、家の近くに畑がある環境なのに、日常的な暮らしの中では、なかなか農とふれあう機会がないのが現状です。そこで、市では町田の都市農地の保全に向けて、市民の新しい農とのふれあいの機会をつくるため、社会実験等の試行を実施しています。詳細は右上二次元バーコードをご覧ください。



今号の広報紙は、10万3141部作成し、1部当たりの単価は17円となります(職員人件費を含みます。また作成経費に広告収入等の歳入を充当しています)。